

---

# 漆黒の案内人

黒羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

漆黒の案内人

### 【Nコード】

N1523Z

### 【作者名】

黒羽

### 【あらすじ】

魔法が当たり前に存在している世界  
世界最高峰の学校『天帝学園』に通うことになった主人公たち  
主人公たちの入学を機にその学園で様々な陰謀がうごめくことになる  
陰謀渦巻く学園で繰り広げられる死闘  
そのなかで、主人公は約束の為に動く

## 漆黒の案内人（前書き）

この作品では超能力⇨魔法の様な扱いです

## 漆黒の案内人

此処は異なる世界

人々皆超能力を持つ

然れど、その量は平等にはあらず  
強き者が居れば弱き者も居たり

此処では力こそが全て

財力、権力、知力…

力にも優劣有り

力の頂点は超能力

超能力強き者には全て有り

超能力弱き者には何も無く

此処に学舎有りて、名を『天帝学園』

其処は頂点を目指す若輩の集いし所

最も優秀、然れど最も残酷な学舎

義務教育を終えし者に闘いを、死を教える所

此処に本年度、異端が潜り込まん

何故か

職務か、義務か、それとも…

全ては闇の内

その様、彼の者の異名が如き

## 不遜

とある寮室で彼は機嫌悪くいた

理由は簡単である、彼の眼の前にいる少年があまりにも不遜だからだ

学園に着くなり「相部屋の相手を自分で捜せ」という、理不尽極まりない指示を出されて、十分にイライラしていた

尤も彼の場合それほど難しいことではなかった

何せ、相手は天風玲<sup>アマカゼレイ</sup>

世界最高機関である元老院の家柄の一角『天風』の御曹司

誰でも天風玲の顔くらいなら知っている

つまるところ、天風玲は突っ立ってるだけでもよかったのだ

しかし、天風玲は自ら動き、ほんの数秒で彼を捜しだして、寮室へと向かった

ここまでは、普通だったのだ

「わざわざ、俺のこと捜してくれなくてもじっとしてたら俺が捜しだしたのに」

彼はわざわざ自分を捜してくれた天風玲に少し申し訳なく思う

「いやあ、気にしなくてもいいよ

なんせ、これから”お世話”になるからねえ

最低限これくらいはしようかなと思ってるねえ」

天風玲はニツコリ笑いながら答える

正確にはヘラヘラなのかもしれないが…

お世話の意味

そこに気付かないほど彼も馬鹿ではない

「…随分と範囲の広そうな”お世話”だな」

彼は眉間に皺を寄せながら呟く

「察しが良いねえ

でもそんなに広いもんじゃあないよ

頼みたいことは家事全般だけ「広いわっ!」

「十分どころか十二分に広いわっ!

いっぺん死ねっ!」

「初対面の相手に死ねだなんて随分ひどいなあ

頭の中腐ってるんじゃない」「死ねえええ!」

そんなこんなで彼は機嫌が悪いのである

(…親馬鹿め

どんな教育してきたんだ?)

そんな不機嫌な彼に対してためらうことなく天風玲は話しかける

「そういえば自己紹介がまだだったねえ

僕は天風玲

なにはともあれ一緒に部屋なんだ

よろしくね」

機嫌が悪そうな彼も諦めがついたようにため息を吐く

「自己紹介されて黙ってるのも礼儀知らずになるか」

俺は赤羽侑輝

…飯は作ってやる

掃除は適当な結界式組んどく

洗濯は自分でしろ」

その言葉に天風玲は微笑む

「よろしくね」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1523z/>

---

漆黒の案内人

2011年12月5日20時02分発行